

岡垣の教育 岡垣東中学校⑦

―創立から10周年ころまで―

岡垣歴史文化研究会 入江 東樹

第7年次(昭和62年度)の学校行事の一部を、紹介する。

- 4月 入学式、修学旅行、1・2年生社会見学、生徒会入会式
- 5月 スケッチ大会、PTA総会、生徒会リーダー研修会
- 6月 生徒会総会、1年生陸上クラスマッチ、2・3年生バレークラスマッチ
- 8月 1年生九重ふれあい教室
- 9月 体育会
- 10月 文化祭
- 11月 PTA講演会
- 12月 両親学級料理教室(PTA)、1年生リコーダー講習会
- 1月 両親学級実技講習会
- 2月 九州交響楽団による音楽鑑賞会、3年生を送る会
- 3月 卒業式、修業式

生徒会に関することを紹介する。生徒会役員選挙は11月末に行われ、新旧交代する。



生徒会総会。「やはぎ」第3号から援用

昭和62年度の新役員は会長が岡藤秀紀(3年)、副会長(2人)は中村恵美(3年)と志岐尊礼(2年)、総務(5人)が近藤智行(3年)と福原朋紀(3年)、斉田美樹(3年)、森山里

恵(3年)、前田泰志(2年)だった。会長だった岡藤君は「会長は1回きりだから、不安さが頭の中を駆け巡った。生徒会を明るくものにしたいと思った。そのため、校内新聞の発行数を増やし、内容をみんなが読んで楽しめそうなものにしてみた。前会長の久保園さんが「明るくといってもあいさつなだけではだめだ」と言っていたので、「オアシス」運動を昨年に引き継いで行った。

体育会と文化祭の2大行事を終えたときは、ホッとした。ただ、文化祭の役員会を開くとき、学級の出し物の準備に追われ、役員会がなかなか開けず、役員会を休みにしなければならぬこともあった。会長を終えたときは、自分ではいい経験をしたと思った。新しく会長になった河合君を中心に、新しいことに向かって、挑戦していく東中生になってほしいと思う」と述べている。

【生徒会役員による生徒会行事の寸評】

3年生を送る会 2年生の有志による応援団の音が感動的だった。生徒会入会式 新1年生の輝いた

瞳が印象的だった。リーダー研修会 会議の進め方などが勉強になった。生徒総会 最も大きな行事で、みんなが積極的に取り組み、大成功だった。体育会 初めて「たて割り」で取り組み、盛り上がった。文化祭 例年になく3年生は全クラスが劇、1・2年生はモビールや竹細工など、素晴らしい展示品でいっぱいだった。

新役員任命 生徒会の役員をやっていた良かった。これからも素晴らしい東中であることを願いたい。2年生の一木裕径君が、文化祭の感想で3年生のことを「3年生5クラスが独自のアイデア一杯で演じた劇、『ヘレンケラー』『新竹取物語』『クリスマス・キャロル』『杜子春』『不思議の国のアリス』。各クラスが一致団結して努力され、どの劇も僕たちを楽しませてくれました。合唱コンクールでは、3年生として見事に歌い上げ、素晴らしい文化祭でした」と述べている。

※岡藤君と一木君の文は、校友会誌「やはぎ」第3号から要約した